

●1分で見える世界景気／2018年1月末から見た2018年2月動向

※世界同時好況の中、日本はデフレに決着をつけ、次世代へ先回りできるか？

欧州

英国/EU離脱交渉、第二段階(通商協議)へ

- ・17年GDP+1.9%→+1.8%
- ・12月消費者物価+3.0%

2018年政治リスク

- ・ドイツ、中東欧、イタリア、スペイン
- ・英国のEU離脱交渉 ・・欧州制度改革

ドイツ/2017年GDP成長率予想+2.2% (+2.0%から上昇修正)
・メルケル首相政治リスクくすぶる

・EU 2017年はGDP+2.5%で10年ぶりの高水準雇用底堅く

欧州中銀 経済見通し改善で金融緩和縮小決定

- ・月額600億ユーロ買入れ→300億ユーロへ
- ・期間を17年12月末→18年9月末まで延長

中国

地政学リスク

17年GDP +6.9% (昨年6.7%)

※けん引役は輸出や固定資産投資だが政治主導の色合い濃く、債務増加も懸念される

- ・卸売物価+6.3% (▲1.4%)
- ・輸出+7.9% (▲7.7%)
- ・工業生産+6.6% (+6.0%)
- ・個人消費+5.4% (+6.8%)
- ・固定資産投資+7.2% (▲8.1%)

米国

トランプ政権

大型減税で国内投資と雇用増の兆し

(アップル、ウォルマート、ウェルズ・ファーゴ、バンク・オブ・アメリカ、ボーイング、コムキャスト、AT&T等々)

地政学リスク 景気好調

- ・2017年GDP+2.3% (昨年+1.5%)
- ※2018年予想+3.0%
- 12月雇用増+14.8万人、12月失業率4.1%
- 12月新車販売▲5.2% (前年同月比)
- ・新築戸建販売件数12月+10.8% (前年同月比)

FEDの地区連銀経済報告/11-12月末

→米経済は穏やかに拡大賃金上昇の兆し

新興国 回復の傾向鮮明に

- ブラジル/3四半期連続プラス、政策金利0.5%下げて史上最低の年7%金利へ
- シンガポール/17年通年のGDP見通し+2-3%→+3-3.5%と引き上げ
- ベトナム/17年GDP+6.81% (目標+6.7%)
- フィリピン/17年GDP+6.7% (昨年+6.9%)
- イラン/17年GDP+3.5% (昨年+12.5%) で急減、地政学リスクが影響か？

日本

地政学リスク

経済堅調、雇用改善

- ・内閣府/11月景気動向指数一致指数118.1 (+1.7ポイント) 2007年10月のリーマンショック前と同水準
- ・12月新車販売台数 ▲0.8% (前年同期比)
- ・12月輸出+9.3% (前年同月比) ・12月失業率2.8%

好景気を追風に賃金上昇、社会保障改革に取組めるか？

●日銀 緩和維持決定

金融緩和が量から金利へ

①短期金利 (-0.1%) ②長期金利を0%へ誘導決定

世界同時好況だが、地政学、政治リスクあり
次世代へ先回りできる国はどこ？

緩和マネー